

ビジネスプロセス 管理ソリューション

桜田 孝* 川口正高**
金山茂敏*
鷲津 忍*

要 旨

厳しい経済環境の中，取引コスト削減やBPR(Business Process Reengineering)による経営効率化を目的として，企業間や企業内の業務連携の自動化や容易化を実現するソリューションへの要求が高まっている。従来から企業間連携の代表的な実現手段として活用されてきたEDI(Electronic Data Interchange)も，バッチ型からリアルタイム型へ移行しつつある。

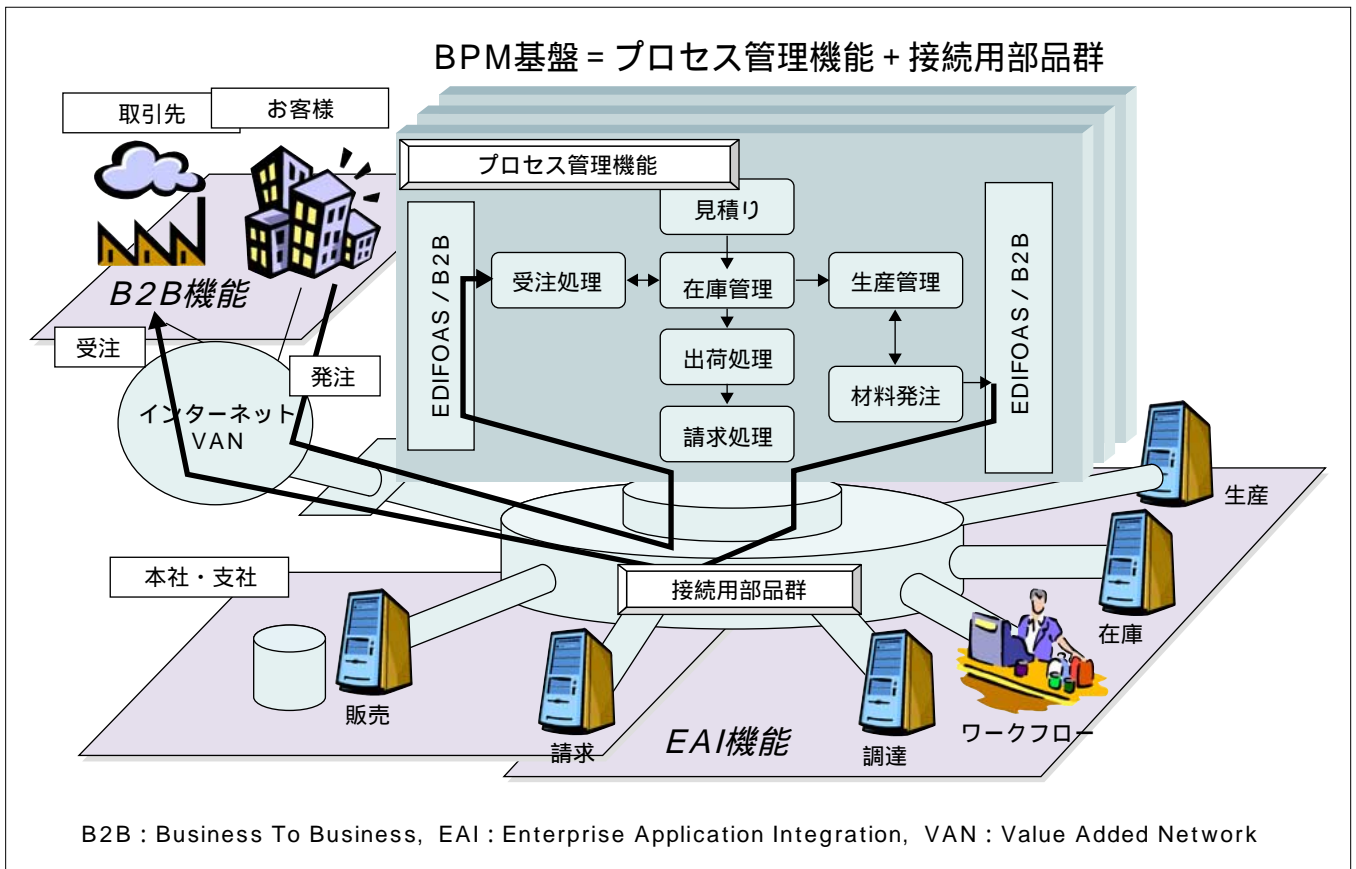
このような要求にこたえる技術として，ビジネスプロセス管理(以下「BPM」(Business Process Management)という。)が注目されている。従来の連携技術は，データレベルの加工 / 接続が中心で，業務プロセスを連携させるには至っていなかった。BPM技術により，リアルタイムな業務プロセスの連携や統合を短い工期で実現できるばかりでな

く，運用後のシステム変更も容易に行うことができる。

三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(MDIS)は，業務プロセスのビジュアルなモデル化手段と，そのモデルの自動的な実装手段からなる「BPM基盤」を構築した。

BPM基盤を活用した様々なソリューションを総称して「ビジネスプロセス管理ソリューション(略して「BPMソリューション」)」と呼ぶ。このBPMソリューションの具体化の一つが「企業間電子商取引ソリューション：EDIFOAS / B2B^(注1)」である。これにより，業務システムと柔軟な連携が可能であり，EDI導入にかかわる費用と期間を低減することができる。

(注1) EDIFOAS / B2Bは，三菱電機(株)の商標である。



ビジネスプロセス管理 (BPM) ソリューションの全体像

BPMソリューションは，ビジネスプロセスの定義・実行をつかさどるBPM基盤によって企業間・企業内のシステム連携・アプリケーション統合をリアルタイム又はバッチで処理することにより，運用コストやエラー回復コストを削減する。BPM基盤はビジネスプロセスを記述するプロセス管理機能と外部システムの違いを吸収する接続用部品群から構成され，あらかじめ用意したテンプレートにより，短期間のシステム構築を可能とする。